



このマークは製品のエンクロージャー内に、絶縁されていない危険な電圧が存在し、感電の恐れがあることをユーザーに警告するためのものです。



このマークは製品に付属する文書内に重要な操作およびメンテナンスの指示があることをユーザーに警告するためのものです。

注意：感電の危険があるのでカバーを開けないで下さい。

注意：感電の危険を軽減するために、カバー（または背面部）は取り外さないで下さい。ユーザーによる保守が難しい内部パーツの修理に関しては、資格のある技術者にご相談下さい。

警告：火事または感電事故を防ぐために、本製品を雨や湿気にさらさないで下さい。本製品は水滴や水しぶきにさらさないようにし、花瓶など、液体が入ったものを本製品の上に置かないで下さい。

重要な安全指示

警告：電気製品を扱う際は、以下に示す重要な注意事項を必ず守って下さい。

1. 取扱説明書を必ずお読み下さい。
2. 取扱説明書は大切に保管して下さい。
3. 製品と操作説明に関する警告に留意してご使用下さい。
4. すべての指示事項を順守して下さい。
5. 水の近くでは本製品を使わないで下さい。
6. 掃除には乾いた布だけをお使い下さい。
7. 換気孔をふさがしないで下さい。メーカーの取扱説明書に従って設置して下さい。
8. ラジエーターや熱調整装置、ストーブ、その他の熱を発生する装置（アンプを含む）など、熱源の近くに設置しないで下さい。
9. 電源プラグがコンセントの差し込み口に合わない場合等、古いコンセントの取替えについては電気技師にご相談下さい。
10. 電源コードは、特にプラグの差し込み部分、延長コード、機器から出ている部分が引っかかり、抜けたり挟まれたりしないように保護して下さい。
11. アタッチメントや付属品は、必ずメーカー指定のものをご使用下さい。
12. 台車やスタンド、三脚、ブラケット等は、メーカー指定のものか、本製品用に販売されているものを必ずご使用下さい。台車を使用する場合は、本製品を載せて移動する際、ケガをしないよう注意して下さい。
13. 長期間使用しない場合や、雷を伴う嵐の際はプラグをコンセントから抜いて下さい。
14. メンテナンスの際は、有資格の技術者に必ずご相談下さい。電源コードやプラグの損傷、液体や異物が本製品内に入り込んだ場合、本製品が雨や湿気にさらされた場合、正常に作動しない場合、本製品を落とした場合など、本製品が何らかの状態で損傷した場合は、メンテナンスが必要です。
15. 電源コードは表示に従って接続して下さい。
16. ラックにマウントする際は、リアハンギングブラケットを取り付ける必要があります。
17. 本製品は水滴や水しぶきがかからないようにし、花瓶など、液体が入ったものを本製品の上に置かないで下さい。
18. ON/OFF スイッチが OFF の状態でも電気が滞留している可能性があります。メンテナンスをする際は、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
19. 極度に高いノイズレベルに長時間さらされると難聴となる恐れがあります。難聴を引き起こすレベルには個人差がありますが、一定期間大音量を聞いているとほとんどの人の聴力が低下します。米国安全衛生局（OSHA）は以下の表のようにノイズレベルの基準値を定めています。

1日のノイズ暴露時間	サウンドレベル(dBA)
8時間	90
6時間	92
4時間	95
3時間	97
2時間	100
1.5時間	102
1時間	105
30分	110
15分以下	115

OSHA によれば、上記の許容量を超える状況は聴覚に悪影響を及ぼす可能性があるとして指摘されています。大音量を発生する機器の周辺に長時間いる場合、耳を保護するよう心掛けて下さい。機器を操作する時間が上記を超える場合は耳栓等を装着して下さい。



VB-2

オールチューブベースアンプ

この度は、Peavey VB-2 ベースアンプをお買い上げ頂きありがとうございます。
Peavey VB-2オールチューブベースアンプは、どのような音楽スタイルにも最適なアンプとなっており、そのプリアンプは、ビンテージタイプのクリーンサウンドからアグレッシブなヘヴィメタルまで、様々なジャンルに対応します。
スペシャルな3バンドイコライザーを装備し、パッシブ、アクティブどちらのベースでも完璧にトーンをコントロールする事が出来ます。またプレゼンスとレゾナンスのダンピング・コントロール、3WAYインピーダンスセレクターにより、様々なベーススピーカーと一緒に使用することができます。



本製品を使用する前に、AC電源が正しく接続されている事をご確認下さい。正しい電圧はリアパネルのAC電源ソケット側に表示されています。本製品の各機能には番号が振られています。各機能の詳細に関しては本マニュアルのフロントパネルの図を参照してください。

お客様と製品の安全を確保する為、このマニュアルを注意してお読み下さい。

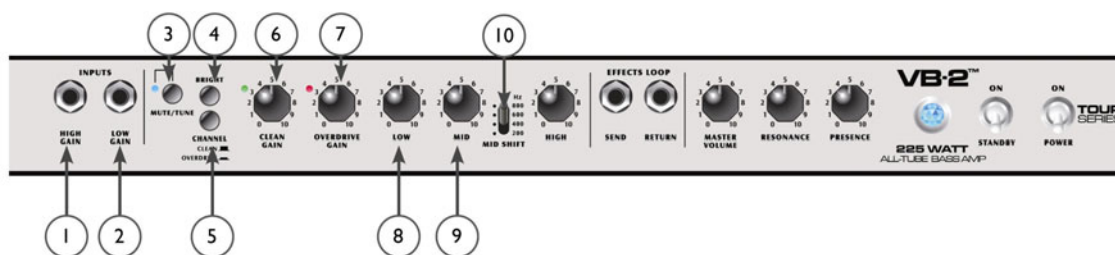
特長：

- 内部バイアス調整による6つのEL34を搭載した225Wのパワー
- インピーダンスセレクタースイッチ (2/4/8ohm)
- 2つの並列スピーカー出力ジャック
- カスタムメイドの特大電源出力トランス
- 12AX7x2 (デュアルトライオード・プリアンプ管)
- 12AT7x1 (カソードインフェーズスプリッターでパワーアンプの動力を高めます)
- アクティブベースとパッシブベースに対応する2つの入力ジャック
- チューナーアウト搭載
- MUTE/TUNEのLEDインジケーター
- ブライトスイッチ
- クリーン/オーバードライブチャンネルはフットスイッチで切り替え可能
- クリーン/オーバードライブゲインつまみのLEDインジケーター
- ミッドシフト付き3バンドアクティブイコライザー
- エフェクトループ (シリーズ) 搭載/前面パネル
- マスターボリューム
- プレゼンス、レゾナンスのダンピングコントロール
- グランドリフトとプリ/ポストEQスイッチ付きXLR DIアウト装備
- ジュエルパイロットランプ
- 電源/スタンバイスイッチ



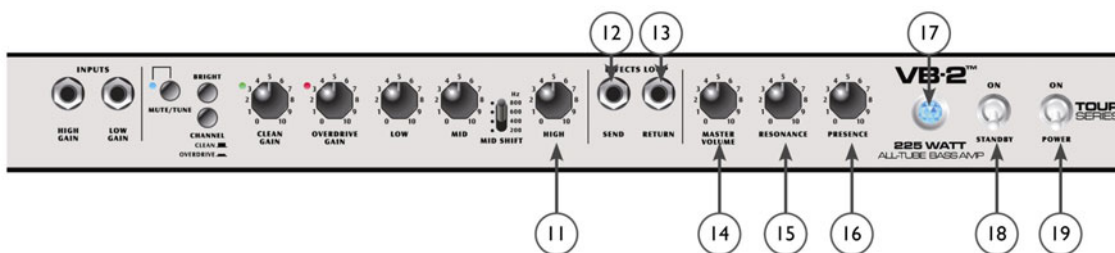
注意：通気の良い場所で使用し、可燃物からは最低30cm程度離して下さい。必ず全ての通気孔が塞がれていない事を確認して下さい。

フロントパネル



- 1. ハイゲイン入力**
主にパッシブベース用の入力です。
※パッシブベースを使用してアグレッシブな演奏をする際は、LOW ゲイン入力を選択することによりクリーンなヘッドルームを得ることができます。
- 2. ローゲイン入力**
主にアクティブベース用の入力です。6dB 低くなっています。
- 3. ミュート**
DI、エフェクトループ、アンプ出力がミュートされます。(チューナーjackからは出力されます。) MUTE 中はスイッチ左の青色 LED が点滅します。
- 4. ブライトスイッチ**
ボタンを押すと、1kHz 以上の周波数が 10dB ブーストされます。
- 5. チャンネル・スイッチ**
ボタンを押すと、プリアンプのオーバードライブモードを作動させます。リモートスイッチ操作をする際はこのボタンを押してください。
- 6. クリーンゲイン**
「CLEAN」モード選択時にプリアンプの歪みを調節します。つまみの左側にある緑色の LED が点灯します。
- 7. オーバードライブゲイン調整**
「OVERDRIVE」モードが選択時にプリアンプの歪みを調節します。つまみの左側にある赤色の LED が点灯します。
- 8. ロー**
低音域のカット/ブーストを調節します。
- 9. ミドル**
中音域のカット/ブーストを調節します。
- 10. ミドルシフトスイッチ**
ミドルコントロールの中心周波数を 800, 600, 400, 200Hz の中から切り替えます。

フロントパネル



11. ハイ

高音域のカット/ブーストを調節できます。

12. SEND 端子

プリアンプからの信号をエフェクト、もしくはスレーブアンプに出力します。

13. RETURN 端子

パワーアンプ部にエフェクトを入力、もしくは別のプリアンプからの信号を入力し、パワーアンプ部をスレーブアンプとして使用することも可能です。

14. マスターボリューム

パワーアンプの歪みを調節します

15. レゾナンス

パワーアンプ低域のダンピングファクターを調整します。ツマミを反時計回りに回すとよりタイトな音、時計回りに回すとルースな音になります。

16. プレゼンス

パワーアンプの高域ダンピングファクターを調整します。ツマミを反時計回りに回すとよりメローな音となり、時計回りに回すとシャープな音になります。

17. パイロットライト

電源スイッチがオンの時に点灯します。



18. スタンバイスイッチ

パワーアンプ管をオン/オフします。このスイッチがオフの時も、プリアンプとDIは機能します。

※STANDBY スイッチを入れる前に、少なくとも5分のウォームアップしてください。



19. 電源スイッチ

本体の電源のON/OFFを切り替えます。

警告：

電源スイッチがOFFの位置にある時でも、内部エンクロージャーで危険な電圧が発生している可能性があります。

リアパネル



20. AC 電源ソケット

付属の電源ケーブルを接続します。誤った電圧で使用した場合、故障の原因となりますので、電圧表示が正しいことをご確認下さい。

21. ヒューズ

アンプ全体のメインヒューズです。このヒューズが切れた場合、ヒューズ交換前にアンプのプラグを抜いて、パワーとスタンバイスイッチを切ってください。同タイプの物と交換する必要があります。ヒューズ交換時、アンプの不良、もしくは電源投入時に何か兆候が確認出来た際には、代理店窓口にお問い合わせください。



22. スピーカー出力端子

パワーアンプからの信号を外部スピーカーに出力します。これらのフォーンジャックは平行で接続する事が可能です。

リアパネル



インピーダンスセレクトスイッチ

このスイッチは機器の裏面に配置されています。ベースプレーヤーがよく使用する 2Ω 、 4Ω 、 8Ω に設定できます。アンプの機能を最大限に引き出し、真空管の寿命を保つ為に正しいインピーダンスに設定してご使用ください。

※もし、ご使用のスピーカーのインピーダンスについて分からない場合は、裏面をご確認下さい。通常、 4Ω または 8Ω となっております。キャビネットをパラで接続すると、インピーダンスが変わります。例えば、同時に並列で繋がれた2つの 8Ω キャビネットを使う場合、 4Ω セットアップとなり、並列に繋がれた2つの 4Ω キャビネットを使う場合、 2Ω セットアップにする必要があります。

23. グラウンド・リフト

アースが正常に取れていない際に起こるハムノイズを防ぎます。ボタンを押した状態でグラウンド・リフトの状態になります。

24. プリ/ポスト EQ スイッチ

このスイッチを押していない時は、プリ EQ の信号が、ボタンを押した状態でポスト EQ の信号が出力されます。

25. DI レベル

DI の出力信号レベルを調節できます。このつまみが反時計回りに回しきったとき、DI は OFF となります。最高信号レベルは 8.24dB です。

26. DI XLR ジャック

ミキサーまたはパワーアンプに信号を送るバランス出力です。

27. チューナージャック

チューナーにバッファ信号を出力します。また、もう一台のアンプに信号を送り、バイアンプとして用いる際に使用する事も出来ます。このジャックは、常に信号が出力されます。

28. リモートスイッチジャック

チャンネル切り替え用のフットスイッチを接続するステレオフォン端子です。

VB-2 推奨セッティング

モダンスタイル



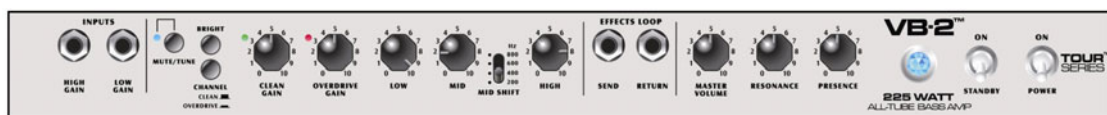
1.) ロック

Low = 8

Mid = 3

Mid Shift = 800

High = 5



2.) メタル

Low = 10

Mid = 2

Mid Shift = 400

High = 8

ファンクスタイル



1.) スラップ

Low = 8

Mid = 3

Mid Shift = 400

High = 6



2.) フィンガースタイル

Low = 8

Mid = 9

Mid Shift = 200

High = 2

クラシックスタイル



1.) ロック

Low = 10

Mid = 3

Mid Shift = 600

High = 0



2.) メタル

Low = 10

Mid = 3

Mid Shift = 600

High = 2

VB-2 製品仕様

メイン電圧	100VAC 50/60Hz
消費電力	600W

パワーアンプ	
EL34/6CA7 パワー管	6 本
12AT7 ドライバー管/フェーズプリッター	1 本

定格出力	225W、2Ω、4Ω、8Ω、<5%THD
入力感度（リターンジャック）	1.8VRMS、または 7.32dBu

DI XLR 出力	
出カインピーダンス	600Ω
プリ EQ センド（公称）	-15.00dBu
レベル 10 設定時、ハイ・ゲインジャック	-13.54dBu

ミュート	減衰 > 80dBu
------	------------

プリアンプ	
12AX7 プリアンプ管	2 本

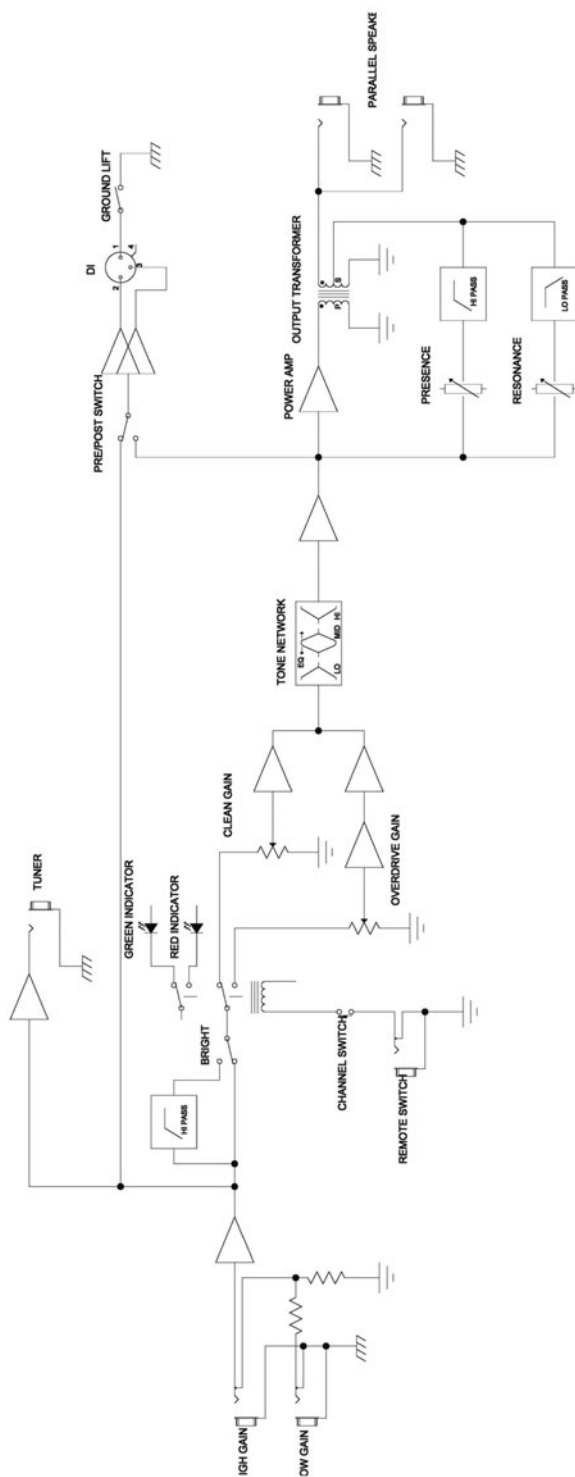
EQ テストセッティング	
ロー	5
ミッド	5
ミッドシフト	400Hz
ハイ	5
ブライツ	アウト
チャンネル	クリーン
マスターボリューム	10

ハイ・ゲイン入力	入カインピーダンス：1mΩ。公称：41mVRMS、または-25.5dBu、最低：18mVRMS、または-32.7dBu
ロー・ゲイン入力	入カインピーダンス：68kΩ。公称：82mVRMS、または-19.5dBu、最低：36mVRMS、または-26.7dBu

エフェクトループ（マスターボリューム後にエフェクトループとなります）	
SEND 出カインピーダンス	1kΩ
リターン入カインピーダンス	1MΩ

寸法・重量	28 (H) x 62 (W) x 28 (D) cm, 24.5Kg
-------	-------------------------------------

VB-2 ブロック・ダイアグラム



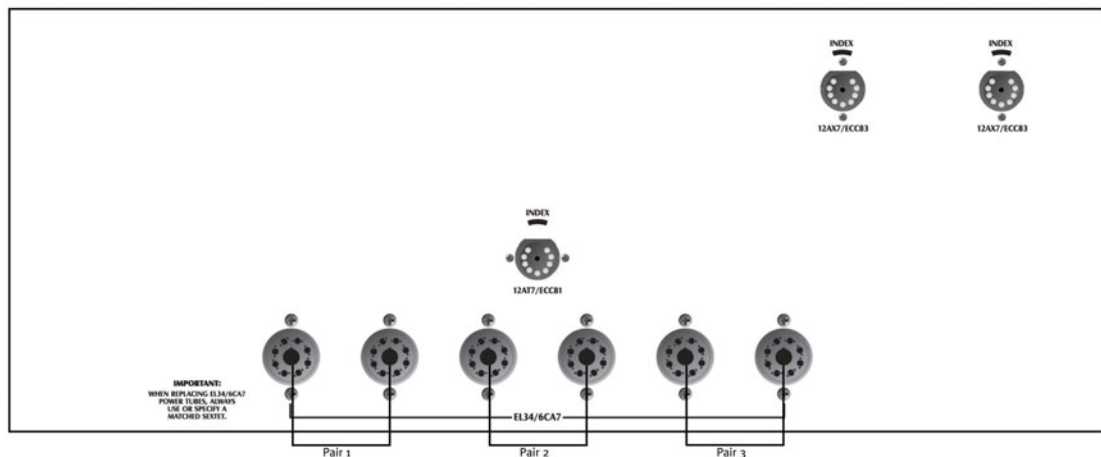
真空管の交換

警告：EL34、または 6CA7 以外のパワー管使わないでください。そのほかのパワー管を使用するとアンプへのダメージ、パフォーマンスの低下、そして感電を引き起こします。マッチドの EL34、または 6CA7 をご使用ください。

バイアスはプロフェッショナルなエンジニアによって調整されています。パワー管を交換した際は必ずバイアスの調整を行ってください。バイアス調整が正しく行われないとアンプは最大出力を出せないだけでなく、出力が歪み、チューブが長持ちしない事が考えられます。パワー管（VB-2 では EL34 が使用されています）が青く放電するのが一般的です。

真空管は取り付けただまにしてください。パワー管をアンプから引き抜く度に、ピンがすり減り、接続不良を引き起こしやすくなります。またソケットへダメージを及ぼす事も考えられます。

（アンティーク真空管が優れていることが広く認められていますが、これは必ずしもあてはまりません。珍しくて高いアンティーク管も存在しますが、そこまでの効果が得られないこともあります。）



上記のように、パワー管フィラメントは一對ずつつながれます。

プリアンプ管：最高のパフォーマンスを得る為、指定されたタイプの真空管を使ってください。

(12AX7)

V1b - 入力ゲインステージ

V1a - セカンドゲインステージ

(12AX7)

V2b - オーバードライブチャンネルゲインステージ

V2a - アクティブEQドライバー

(12AX7)

V3a - パワーアンプ・プリドライバー

V3b - カソダイフェーズスプリッター